

一般社団法人口カップジュニア・ジャパン 平成30年度第4回理事会議事録

1. 日 時 : 2018年7月8日（日）13：00～14：50

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル6階 会議室

3. 出席者

(1) 本人出席者 3名

高橋友一、中島晃芳、水野勝教

(2) 委任状提出者 3名

島谷太、野村泰朗、松原仁

(3) 欠席者 1名

今井俊二

(4) 理事以外出席者 4名

蟬正敏（監事）、前田正久（事務局長）、浅沼まり（事務局）、藤村晶子（事務局）

4. 議 事

1. 2018モントリオール世界大会関連報告について
2. ジャパンオープン2018和歌山大会収支決算について
3. RCJJ運営規程内規について
4. RCJジャパンオープン選抜改定案について
5. 議事録署名人の選定
6. その他

5. 資 料

資料1. RCJジャパンオープン選抜改定案

資料2. ジャパンオープン2018和歌山大会収支決算書

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①高橋代表理事が開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2018モントリオール世界大会関連報告について

①水野理事より、2018モントリオール世界大会について、参加者全員が無事帰国したことが報告され、OnStage Individualで優勝する等、日本から参加した13チームの健闘が称えられた。2016ライブツイッヒ大会、2017名古屋大会と比較して準備不足の点があった中で、試合数は予定通り実施したため、試合時間を延長して行ったとのこと。しかし全体的には大きな混乱はなく、無事大会を終了することができた。2019年世界大会はオーストラリア シドニーにて、2020年はフランスボルドーにてそれぞれ開催予定であることが報告された。

(3) ジャパンオープン2018和歌山大会収支決算について

①前田事務局長より、資料2に基づき、ジャパンオープン2018和歌山大会における収支決算について報告がなされ、今回発生した繰越金については、次年度の開催準備金に充当することとなった。来年度開催に向けての課題として、2018年は和歌山県南部に広報が不十分であった。次回は県全域にジャパンオープン開催を広報していただきたいこと。また、スタッフ確保のために関連費の予算倍増を検討してもらいたいなどを含め主催団体として和歌山市側の更なる協力を要望として出すこととした。

(4) RCJJ運営規程内規について

①水野理事より、前回理事会検討された運営規定案ver5.02について、理事会後に開催されたブロック長意見交換会での意見の報告があった。運営規定案ver5.02内容の再確認後、今後、この運営規定に従い運営していく事が承認された。本運営規定は、中島理事から各ブロック長及び技術委員に、今井理事がRCJJ公式HPに掲載することで周知し、この運営規程に沿った体制づくりを今後進めてくよう呼び掛けを行う。

(5) RCJジャパンオープン選抜改定案について

①資料1に基づき、高橋代表理事より今井理事から提出されたRCJジャパンオープン選抜改定案について説明がなされた。2019年4月のジャパンオープンから適用することが了承された。運営規程同様、中島理事が各ブロック長及び技術委員に周知し、今井理事がRCJJ公式HPに掲載することとなった。

(6) その他

①高橋代表理事より、小中学生、高校向け教材を作ること、教材の作成にあたってはロボカップのグローバルスponサーであるMathworksと相談して進めることについて提起がなされた。ジャパンオープン2019和歌山大会を目処に検討、整備していくこととなった。

②中島理事より、次回ジャパンオープンにおける電池使用のルールについて、今年度と同様で問題ないかとの確認がなされた。次回の会場が既に決定していることから、変更の必要はないとして、早い段階で周知するべきであるとされた。

③中島理事より、RCJJの今後の課題や方向性などについて議論する必要性があるとの意見があり、様々な可能性が模索された。

・小学生から成人まで広くカバーしていることがロボカップの最大の魅力であるから、その側面をよりアピールしていくこと。

・文部科学省の教育カリキュラムが変わりつつある中、中低年齢層をどのように取り込んでいくこと。

・ロボカップジュニアの内容が低年齢の競技者にとっては難し過ぎる場合があるので、導入用の競技をNippon Leagueで取り入れてはどうか

などの意見があり、今後も引き続き検討していくこととなった。

また、意見交換の中で以下については、取り組む方向で進めることになった。

・到達目標を明確にすることが、競技者のモチベーション向上に繋がるという観点から、2019年ジャパンオープン開催期間中に模擬検定試験を実験的に実施する方向で検討することになった。

・2020年10月中部空港横で開催予定のRCAPにおいて、RCJJは運営を行う立場に置かれることから、同年の同じ時期に開催されるノード・ブロック大会との兼ね合いを各ブロックに検討をお願いすることとなった。

最後に、2020年4月以降のRCJJの運営について、計画的に取り組んでいかねばならないことが確認された。

④次回理事会は平成30年9月9日(日)に開催することとなった。

(7) 議事録署名人の選任

本日の議事録署名人として、中島晃芳氏、及び水野勝教氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成30年7月8日

議長 高橋 友一

議事録署名人 中島 晃芳

同 水野 勝教

